

トピックス

(1) ストレングスエルゴ 240 を地域の健康診断にご活用

- ・北海道八雲町では地域の健康診断に、長野県松本市では高齢者の健康増進活動の評価用にと、各地で健診用機器としてご活用頂いています。短時間で精度良く筋力評価ができ、90歳を越えた高齢者の方でも簡単に脚力が測定できる点などが好評です。

(2) 「ストレングスエルゴ 8/240」の学会展示会等への出展予定

① 第41回日本理学療法士協会全国研修会(アルカス SASEBO) 10/5-6

- ・テーマ「生活機能向上に対する理学療法技術」(下記長崎県理学療法士会ホームページに関連情報があります)

<http://www.npta.or.jp/index.htm>

② リハビリテーション・ケア合同研究大会 青森 2006(ホテル青森、ウェルシティ青森) 10/5-7

- ・テーマ「心身機能・生活機能の再構築を目指して」

<http://secure1.gakkai-web.net/gakkai/knt/reha/index.html>

(3) 納入事例(フクダ電子兵庫販売株式会社殿)

- ・兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンターへの納入事例のご紹介
ストレングスエルゴ 240 を検査室に運動負荷試験用としてご採用頂きました。ホームページは下記

<http://www.hwc.or.jp/nishiharima/index.htm>

(4) 「ストレングスエルゴ 240」の紹介

① 第25回関東甲信越ブロック理学療法士学会(パシフィコ横浜) 9/9-10

- ・テーマ「ひろげよう、知識の輪・PTの和」

展示状況の写真⇒

- ・関連発表テーマのご紹介

「78 脳卒中片麻痺患者における片麻痺機能回復段階での脚伸展力と歩行能力との関係」

(栗原、小峰、泰、間嶋 埼玉医科大学病院 リハビリテーション科)

http://www.jstage.jst.go.jp/article/ptkanbloc/25/0/25_78/_article/-char/ja/



臨床事例の紹介

①少し前になりますが、第38回日本理学療法士学会(2003/5/22)で紹介されたストレングスエルゴ240の臨床事例の一例をご紹介します。

詳細は、拡販用CD-ROMの論文集に掲載されておりますので、ご参考にして下さい。

表題は、「高齢の低体力者に対する24週間のペダリング運動の効果」

発表者は、金澤 浩1)・岩本久生1)・小林亜紀子1)・板谷麻美1)・白川泰山(MD) 2)・浦辺幸夫3)

1)マッターホルン病院 リハビリテーション科 2)マッターホルン病院 整形外科 3)広島大学医学部保健学科

対象は

- ・脳卒中片麻痺(4名)(下肢 Br.stage II~III)
- ・大腿骨頸部骨折術後(3名)
- ・肺炎後廃用症候群など(3名)
- ・開始時平均年齢は78.9歳

方法は

- ・アシストモードで、クランクの運動速度を8-10rpmに設定し、10分間のエクササイズ
- ・運動負荷のレベルはボルグ13

週に4回で24週間継続

効果は

総仕事量については、終了時は開始時の平均2.45倍に増加(ex.6.5⇒19.2Kcal)

トルク値は、終了時は開始時の平均2.07倍に増加(ex.9.6⇒24.3Nm)

プラトーに達したと考えられた10例中7例に明らかな運動療法上の効果が、身体動作能力の再獲得というかたちで得られた。

歩行に介助が必要だった5例のうち
・1例は単独で一本杖歩行
・2例は監視下で一本杖歩行が可能

あとがき

今回は皆様のご要望に応じて、臨床事例を掲載いたしました。今後も引き続き、掲載希望の情報などをお寄せください。

発行元：三菱電機エンジニアリング株式会社
産業システム事業部 制御技術部 ウェルネス課
〒486-0906 愛知県春日井市下町屋町字下屋敷 139
TEL (0568)-36-2064 FAX(0568)-36-2045